

Y M C A 健康福祉専門学校

健康福祉ニュース

What's New!

デンマーク研修旅行の報告

2008年度体験入学会のお知らせです

これからの専門職に求められるもの

私たちYMCAの学生達は毎年、YMCA国際地域協力募金活動として、学校近くの駅前で「街頭募金活動」を実施します。そのとき、街ゆく人達に向かって次のように呼びかけます。「災害や紛争の被災者・犠牲者の多くは子どもたちや女性たちです。命が守られ安心して生活できるように応援しています。YMCA国際・地域協力募金にご協力をお願いします」。また、絵本の読み聞かせボランティアや障がいのある子どもたちの支援ボランティア、高齢者支援活動、HIVエイズ啓発活動などにも積極的に取り組んでいます。

私たちYMCAは、「知ることは、気づき」「気づきは、行動の変化に、そして自らの生き方そのものの変化につながる」と確信しています。これらの活動への学生、教職員の参加には、単なる理屈ではない、ひとり一人の行動に根ざした人間の希望があります。それは、「ボランティア」という言葉で表現される、他人の困難や不幸に対して自らの意志で身をもって関わる人間の新しい姿だと私たちは考えています。

さて、横浜YMCA専門学校では、専門職としての資格取得はもちろんのことその資格を持つにふさわしい人格を身につけることを大切にしています。社会は、質の高い、優秀な専門職を求めています。さらに、「専門職」の活躍の場が、各種施設中心から地域へと広がり、ネットワーク形成へと期待されています。すなわち「地域を支える専門職」として、求められている仕事の幅も広がってきていると言えます。では、質の高さとは何でしょう。「高い知識や技術」ですか？「専門職としての自覚を持つこと」や「命と向き合う覚悟を持つこと」でしょうか？もちろん、それとても大切なことです。

これからの専門職に求められているもの、それは、自らがあごることなく、自分の心の窓を開いて、自分の心をコントロールしながら、相手をよく観察し、相手の望みを叶えようと行動すること。それは、相手の心を動かすことができる力だと思います。

自立した市民による「コミュニティー」には、子どもたちをかくみ、高齢者を見守り、困難さを抱えている方々に寄り添う力があります。まさに「地域の力」と言えるでしょう。そこに専門職が加わることで「地域の力」はますます強いものになるに違いありません。

YMCAではそれぞれに学び、身につけた専門性を「地域に生かす」という姿勢を大切にしたいと願っています。私たちYMCA健康福祉専門学校の教職員も一丸となって、みなさんの夢をかたちにするためのお手伝いをさせていただきます。

本物の専門職をめざしてともに育ち合いましょう。

YMCA健康福祉専門学校
校長 小林 一郎

2007年度生 入学おめでとう！



在校生による歓迎
トーンチャイム演奏

4月5日(木)、横浜YMCAカレッジ・グループの合同入学式を、県立音楽堂で行いました。入学式では毎年、各校在校生による歓迎のパフォーマンスが行われます。YMCA健康福祉専門学校からは、介護福祉科2年生によるトーンチャイム演奏が披露されました。実際に演奏に参加できる人数をはるかに超える希望者の中から、選抜(!?)された学生たちが、「涙そうそう」を演奏しました。広い会場内が静まりかえり、トーンチャイムの上品な音色が響き渡る、とても素晴らしい演奏でした。介護福祉科では、音楽療法の授業内でトーンチャイムを行いますが、今回は「入学式のために」と新たに練習に励んでくれました。

今年度、新しく入学する総勢318名のみなさんのYMCAでの生活のスタートします。





イニシアチブゲーム「UFO」
全員の協力がないと、成功しません。

入学前オリエンテーションを行いました

YMCA健康福祉専門学校では、入学を予定している方たちが、不安なく専門学校生活を始められるよう、さまざまな入学前オリエンテーションを行います。高校とは違い、専門学校では入学式翌日から専門科目の授業が始まります。これからの数年間を同じ目標を持つ者同士、支えあってほしいという願いから授業開始前、つまり入学前に顔合わせも兼ねてオリエンテーションを実施するのです。

また、福祉スポーツ科ではたくさんの現場を生かした演習(授業)を取り入れるため、指導者としての心構えや子どもの理解、障がい者の理解に時間をかけていきます。もちろん2年生や専攻科の先輩たちがしっかりサポート。リーダー活動の第1歩はもう始まっています。



福スポの新1年生
チームワークも抜群!?



けがをした右足に負担をかけないように運搬するには…

日赤救急法講習会

3月には卒業を控えた学生を対象として、日赤救急法救急員養成講習がおこなわれました。福祉スポーツ科では必修、健康福祉科では選択となっています。日赤救急法とは病気やけがや災害から自分自身を守り、病人やけが人を正しく救助し、医師や救急隊に引き継ぐまでの手当てについて学びます。救助者役とけが人役になり、包帯の巻き方や止血、骨折への対処から心肺蘇生まで、さまざま

な状況への正しい対処を学習していきます。悪戦苦闘しながら、4日間のハードスケジュールと検定試験を無事に終えることができました。子どもや高齢者、障がい者の現場で働くうえで、いのちを守ることは最も重い使命です。



骨折!「痛いよー、助けて!」と
けが人役も迫真の演技

卒業式と卒業を祝う会

3月23日(金)、県立音楽堂にて横浜カレッジ・グループの合同卒業式が行われました。すっかりとした春の日差しの中、YMCA健康福祉専門学校の約130名の学生が卒業を迎えました。礼拝での奨励は、厚木緑ヶ丘教会森直樹先生より「個人主義」と題し、これから社会人としての一步を踏み出す卒業生に対して、自分らしさを大切に生きていき、自分だけでなく周りの人のことも考え行動できるようになってくださいという温かなメッセージをいただきました。横浜YMCA学院長賞には福祉スポーツ科の鈴木浩之さん、近畿大学九州短期大学

成績優秀賞には健康福祉科の佐藤智栄子さん、介護福祉士養成施設協会会長賞には介護福祉科の阿部雅人さんが選ばれました。

その後行われた卒業を祝う会では、お世話になった非常勤の先生方にも多くご出席いただき、在学中の数々の思い出を語らう姿や、先輩との別れに涙する姿も見受けられ、心に残る一日となりました。



学院長から表彰状を受け取る福祉スポーツ科
鈴木浩之さん



デンマークに行ってきました

YMCA健康福祉専門学校では、選択科目として「海外福祉研修」を実施しています。2006年度は福祉先進国といわれる北欧デンマークを訪れ、福祉の現状や課題について体験を交えて研修しました。滞在期間中は高齢者福祉・児童福祉・障がい者福祉等の施設を見学、さらに施設観察実習を行います。ノーマライゼーションやバリアフリーなど、現在その表現されているものの基本的な考え方が、デンマークなど北欧諸国において培われてきたことはよく知られていますが、その最前線に立つ人々との交流や、北欧文化にふれることも大きな目的です。

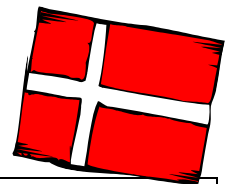


= 参加学生の感想 =

園庭に木を植えただけでも、子どもによってそれをどう捉えて遊ぶかは違う。木登りなどの運動的な遊びをする子どももいれば、見て楽しむ感覚的な遊びをする子どももいる。子どもを自由に遊ばせることにより、自分の限界を知ることができ、怪我をしにくくなることにつながる。日本では怪我を未然に防ぐことを一番に考えているため、子どもの遊びが制限されてしまうように思う。「子どもは遊びの天才である」ということばがあるように、子どもは遊びによって様々なことを学び、発育発達していくことができるのだと思う。(ブローベックフォース幼稚園視察)

ケアハウスにはターミナルに近い方が多く生活していると聞いていたが、部屋から出て利用者同士で仲良く話している方が多く見られた。寝たきりといわれている方も日本の寝たきりとは違い、どこか生き生きとしている。また、リフトや福祉用具などが多く見られ介助者の介助負担の軽減や利用者の安全・安楽といった双方に掛かる様々な負担の軽減が考えられていた。このように施設的环境を良くすることが、より良い介護に繋がっていくのではないかと実際に見学して思った。(統合ケアセンター視察)

tidsplan



月日	時間	内容
2007/2/24	14:30	スカンジナビア航空SK-984便にてコペンハーゲンへ
	16:00	コペンハーゲン着 車にて宿舎へ
2007/2/25	10:30	デンマーク語講座
	13:30	コペンハーゲン市内観光
2007/2/26	9:30	ブローベックフォース幼稚園視察
	13:30	デンマーク社会および福祉に関するレクチャー
2007/2/27	9:30	高齢者デイセンター / 高齢者住宅視察(ヒョースホルム市)
	13:30	統合ケアセンター視察(カーレボー市)
	16:00	自立した生活を送る高齢者へのヒヤリング
2007/2/28	9:30	成人障害者通所施設視察
	12:00	コペンハーゲン市内観光
2007/3/1	9:30	全国高齢者組織エルドラセイエンの会員の方たちと体操と交流
	12:00	フレデリクスボー城見学
	15:00	介護者に優しいデンマーク式トランスファーテクニックの実習
2007/3/2	8:00	小グループに分かれて観察実習 1)在宅ケア 2)認知症グループホーム
	13:30	観察実習の体験発表会
	18:00	現地コーディネーター宅にて夕食会
2007/3/3	15:40	スカンジナビア航空SK 984で成田へ
	10:30	成田空港到着

2007年4月からのカレッジ・イン(体験入学)

YMCA健康福祉専門学校では、4月から3月まで、1年間を通してカレッジ・イン(体験入学)を実施します。進路を決めている人も、まだちょっと悩んでいる人も、考えてばかりいないでまずは体験！自分の将来のことだから、自分の目で見て、心で感じてみよう！毎週土曜はYMCAへGO!!

4月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21★
22	23	24	25	26	27	28★
29	30					

5月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12★
13	14	15	16	17	18	19★
20	21	22	23	24	25	26★
27	28	29	30	31		

カレッジ・インの最後に、参加者シートを記入します。YMCAのこと、学校・学科のことを理解してもらえたかどうか、そして参加した皆さんの夢がYMCAでかなえられるかどうかの確認です。その結果、「カレッジ・イン参加証」が発行されます。この参加証をもっていることは、「YMCAと相思相愛」。10月から始まる入学試験において「カレッジ・イン推薦入試」を受験することができます。カレッジ・イン推薦入試はなんと作文免除、面接のみでの受験が可能になります。



YMCA健康福祉専門学校

福祉スポーツ科
健康福祉科
介護福祉科

〒243-0018
厚木市中町4-16-19
電話 046-223-1441
FAX 046-223-2101
Email: ymkenko@yokohama-ymca.or.jp
HP: <http://www.yokohamaymca.ac.jp/health>



小田急線本厚木駅から徒歩5分
本厚木駅周辺にはミロードをはじめたくさんのお店もあり便利です。有名ラーメン店もありますよ！

AO入試がはじまります。
詳しくはカレッジインで！

Realize your dream!

～地域福祉をささえるのはあなたです！～

YMCAではさまざまな活動を通して次のことを学びます。

- 「自分のいのちとみんなのいのちを大切にすること」
- 「家族、地域のひとりひとりとして責任があること」
- 「世界と地球を見つめ、考え、行動すること」
- 「ボランティア精神とリーダーシップを身につけること」
- 「すこやかな心と体を育むこと」

そしてこれらを実現するために、次のことを大切にします。

- 「Caring(思いやり)」「Honesty(誠実さ)」
- 「Responsibility(責任感)」「Respect(尊敬心)」

YMCA健康福祉専門学校では、カリキュラムや学校行事を通じて4つの大切な価値を意識する機会を取り入れています。将来、福祉・保育・スポーツの現場で活躍する学生のみならず、他者への思いやりの心を持ち、相手を敬い、自分の行動に責任を持ち、誠実に取り組んでいく専門職になってほしいと願っています。